



みなみいず 町議会だより

No. 58号

2014年
平成26. 8. 1

発行／南伊豆町議会 編集／議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240
E-mail:gikaij@town.minamiizu.shizuoka.jp



南伊豆町ブランド特産品開発事業県知事表敬訪問（6月19日 静岡県庁知事室）

6月定例会を6月10日・6月11日の会期で開催しました。

- 主な内容 ● 6月定例会2～3
- 一般質問4～11
- 議会一口メモ、くろ潮12

平成26年度

一般会計補正予算可決

一般会計	30,003千円
・総務費	6,075千円
・民生費	3,162千円
・衛生費	315千円
・農林水産業費	4,168千円
・商工費	1,406千円
・土木費	10,434千円
・消防費	4,300千円
・教育費	143千円
特別会計	3,240千円
・公共下水道事業	3,240千円

③ 報告事項

- ▼南伊豆町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
全員賛成で可決
- ▼南伊豆町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
全員賛成で可決

② 条例制定・改正

- ▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
南伊豆町上賀茂548番地の4
鈴木正志氏
全員賛成で可決

① 人事案件

議会を傍聴にきませんか

議会は町の予算や身近な問題などを話し合う大切な会議です。

あなたも議会を傍聴してみませんか？



(平成26年6月定例会)

1年に4回の定例会が開かれます。

- 3月定例会 (新年度の町予算の審議が主です)
- 6月定例会 (町政の進捗状況などです)
- 9月定例会 (前年度の町会計の決算審議が主です)
- 12月定例会 (町事業の進捗状況の確認などです)



※手続きは当日、住所、氏名等の記載で傍聴できます。
午前9時30分から開会します。

● お問い合わせは議会事務局へ TEL 0558-62-6240

▼ 繰越明許費繰越計算書の報告について

(平成二十五年度南伊豆町一般会計)

▼ 繰越明許費繰越計算書の報告について

(平成二十五年度南伊豆町公共下水道事業特別会計)

④ 予算審議

▼ 南伊豆町一般会計補正予算(第2号)

全員賛成で可決

▼ 南伊豆町公共下水道事業特別会計補正予算

(第1号)

全員賛成で可決

⑤ 意見書・発議

▼ 手話言語法(仮称)制定を求める意見書の提出について

全員賛成で可決

● 一般質問

町長に聞きました



宮田和彦 議員

森林整備と森林資源利活用

質問 現在の町有林、民有林の面積と森林の状況は。

町長 町全体面積に対する森林率は77.1%という状況です。荒廃した森林の再生を目指すため、南伊豆町森林整備計画や特定間伐促進計画を策定し、静岡林業再生プロジェクト推進事業や美しい森林づくり基盤整備事業などの各種事業を積極的に活用し、森林の再生に取り組んでいます。

質問 伐採された木が放置されている状況だ。大雨で土砂災害が発生すると川へ運ばれ橋桁を塞ぎ河川の氾濫等の可能性が大変高くなると思われるが。

町長 伐採した木の整理は、非常に重要なことだと思います。伐採木の利用を考えながら、里山整備も考えたいと思います。

質問 森林整備の公益性は。

町長 湧水や洪水を緩和する水源涵養機能・水土保持・地球温暖化の要因とされる二酸化炭素の吸収等、「森と海は恋人」等の言葉もあります。そういう意味では非常に大事です。

質問 放置され荒廃した森林では、土に太陽光が届かなく下草が生えなくなり、表土が雨水により浸食され流出し、山の崩壊がはじまり住民の方々に被害が及ぶと考えるので町も力を入れて対応して頂きたい。平成26年4月11日に、エネルギー基本計画が閣議決定された。「大きな可能性を有する未

利用材の安定的、効率的な供給による木質バイオ及び木質バイオマス熱利用等について、循環型経済の実現にも資する森林資源の有効活用、林業の活性化のための森林林業施策や、農村漁村再生可能エネルギーを通じて、積極的に推進し、農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生エネルギーの導入を押し進めていく」等とうたわれているが木質バイオエネルギーに対する方

向性は。

町長 将来的にはエネルギーの地産地消、分散型の方向性を考えていかなければならないと思います。



伊豆縦貫自動車道・アクセス道路

質問 各市町の財政力指数、観光交流人口数を見ると、天城峠を境に伊豆の北と南では、地域間格差が生じ、年々拡大している。その要因は首都圏からの移動時間の長さ、交通機関の利便性の悪さが指摘されている。

伊豆縦貫道の早期完成を急ぎ人、物、金の流れをつくらなければ、町は経済的に衰退の道を進み、2040年には地域崩壊や自治体運営が行き詰まり、消滅の可能性が非常に高くなると予想されている。命の道であ

る伊豆縦貫自動車道、一條・稲梓線道路を早期に完成させるには、町民の機運高揚を図り、近隣市町との連携をしっかりとることが重要と考えるが。

町長 各種団体・町民全体の盛り上がりが必要だと思います。町民の熱望が届く様に運動を盛り上げていきたいと思っています。

健康福祉センター、特別養護老人ホーム

質問 両施設に温泉利用の考えは。

町長 温泉利用を検討課題として取り上げていきたいと思っています。

※観光について質問し、答弁があった。





吉川映治 議員

ジャングルパーク跡地 利用計画について

質問 ワークショップ活動及びその結果への感想は。

町長 石廊崎に対する熱い思いが詰っており、私の政治信条の実現に向けた大きな一歩だと思っています。

質問 当跡地利用計画審議会の人選、その審議内容、進行手順は。

企画調整課長 構成員は、石廊崎地区に対して理解や思い、豊富な知識・経験等を有した方が適切と思えます。審議内容は、石廊崎を自然公園法・文化財保護法

及び観光的な立場から、町の将来、伊豆半島の未来の為に審議してもらう事を考えています。進行手順は、基本構想を元に基本計画を作成、その都度町長に提言していく様考えています。

質問 域学連携に期待する事は。

副町長 町内で具体的な行動を起こす場合、その行動に客観性を持たせる事を主たる目的としています。従って、ジャングルパーク跡地構想のみに限った連携ではありませんが、期待しています。

質問 白水城跡地、登山道(参道)県道沿いの景観整備及び砂防ダムの設置に向けての状況については。

町長 白水城遊歩道は、県と協議を進めており、登山道は、防災上測量設計を実施します。県道も拡幅を予定しております。砂防ダム設置に関しては、再事業化を進めています。地権者との調整が付きません。

税収確保に向けた 取組みについて

質問 主要三税及び国保・介護保険の調定額・滞納額・欠損額の現状をどの様に捉えているか。

町民課長 税負担の公平性、納税意識の啓蒙、相互扶助の精神をさらに推進して、滞納対策の一層の強化を図って参ります。

質問 期限内・年度内申告に向けて、滞納者・滞納税を出さない為の工夫は。

副町長 担当職員が昼夜を問わず努力しております。又県からの応援で、職員も奮闘しています。

町民課長 例えば、国保税の徴収を年に8回にした結果、徴収率は上がりました。

町長 サービス店会のポイントカードで公的資金を支払える制度は、今現在事務的な調整を進めています。



地方自治体への企業会計的 手法の導入について

質問 今日の公的会計責任の重責をどの様に考えるか。

町長 より解り易い開示方法を検討しながら、積極的な情報開示を推進していきます。

質問 「今後の新地方公会計の推進に関する研究会報告書(案)」に、我が町は如何に対処していくつもりか。

町長 非常に難しい問題です。本町としては多分に改善の余地のある分野なので、鋭意努力して参ります。

質問 当研究会報告書(案)には、平成27年度から29年度までに全面改定を強制してくる文面が散見されるが。

総務課長 その方向性は高いです。従って、今から財政・人材育成の面から、慎重に考えて参ります。

質問 早急に、事務職員に複式簿記を習得してもらう必要があると思うが。

町長 固定資産台帳や専用プログラム等の導入と合わせて、検討して参ります。



長田美喜彦 議員

少子化問題

質問 総務省の人口推計によると、15歳未満の子供達は1633万人となり、前年度比16万人減で、33年連続の減少となっているとのこと。5月9日の新聞では、2040年に若年女性流出で896自治体消滅の危機と載っておりました。

町長 本町においても、危機感を持って対策を講じなければいけないと考えています。

基本となるのは、第5次南伊豆町総合計画であり、保険、医療、福祉の充実、観光、農林漁業、商工業の振興、子供を育む教育の充実、安全や安心なまちづくりを推進することが必要である。創生会議のほうでいっているストップ少子化の内容は、若者が結婚し、子供を産み育てやすい環境づくりのための、全ての政策を集中、企業の協力は重要な要素だということで、若者

が結婚子育ての年収500万円モデルを目指した、雇用や生活の安定とか、結婚、妊娠、出産支援とか、子育て支援、そして働き方改革とか、税金の優遇、多子世帯支援とかがあります。

質問 町にも出産祝い金や不妊治療の補助金などはありますが、今後どのような支援策を考えているのか。

町長 静岡県は、安心して子供を産み育てられる環境整備を図るため、結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援に、近隣市町と連携して取り組むとしております。本町におきましても、社会全体で子育てを支える環境づくりを進める上で、県、地域と連携し、改善、充実に努めてまいります。



質問 少子化の中で、学外でのスポーツや町外活動に影響が出ていると聞いていますが助成の考えは。

教育長 適正な助成額の在り方につきまして、町部局といる検討しつつ、今後検討させていただきます。



町有地利活用について

質問 杉並区議と健康学園跡地及び町有地を視察した経過がありますが、町には多くの町有地があります。その中に吉祥町有地がありますが、現在どのような動きがあるのか。又今後、どのような動きをして開発を進めていくのか。

町長 自然を生かした利活

用を検討することを確認しました。今後は町民参加型の推進のため、町民によるワークショップを設置して、利活用を検討してまいります。

質問 三浜小学校跡地などへの考えは。

町長 これら施設の跡地利計画については、町有地施設跡地利活用検討会議で討していく。

質問 町有地跡地には是非とも雇用の出来るような施設を誘致して頂き少子化の解決に繋げてもらいたい。



分煙対策への考え

質問し、答弁があった。



谷 正 議員

指定管理者制度と 地方公営企業会計制度

質問 指定管理者制度と地方公営企業会計制度との関連認識。

町長 指定管理者制度については、住民福祉の増進を目的とし、民間事業者等のノウハウによる公営施設の効果的活用によるサービスの向上を図るため、平成15年6月の法改正により導入された。地方公営企業会計を導入することにより、経営成績、財務状況の把握や適正な資産管理等が図られ、町の将来設計に役立つ。最小のコストで行政需要を満たし、経済性、効率性の重

視、政策の説明責任、競争原理、住民の満足性、企業とのパートナーシップ、世代間負担の考えではなく、精査しながら減価償却の考え方、損益分岐点や指定管理料の適正化等、検討しなければならぬ。行政も費用対効果を前向きに考えなければならぬ。

質問 南伊豆町における現在(現行)の問題点は。

町長 現在、会計(財務)諸表等を読むには、相当な専門知識が必要となるが、職員体制や知識を有する者

がない。職員に勉強・研究してもらい、それらを読み込む能力をつけてもらいたいと思う。

安心・安全の まちづくり

質問 石廊崎地区の土砂(砂防)災害の進捗状況等。

町長 石廊崎地区の砂防箇所は災害が発生すると集落は壊滅する重大問題とされている。再事業化を図っているが地権者や関係者の同意が得られていない。地権者、関係者や区等の協力を得ながら早急に進めたい。

建設課長 本年3月に説明会を実施したが地元の反応はあまり良くなかった。

質問 医師確保施策の考えは。

町長 観光客の医療ニーズへの対応は防災などと共に誘客の要因となるとの認識は持っている。他市町消防組合、2次救急医療機関や

医師会と共に救急医療体制の整備に努める。合わせて賀茂地区医療協議会に要望していく。医師確保の貸付制度等は、賀茂地区医療協議会で圏域独自の貸付制度の研究、医師確保対策について、継続的に研究、要望していく。



半島振興法と 南伊豆の適用事業

質問 総合計画と半島振興法との関連の考え方。

町長 総合計画は自立した町として歩むため、総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想であり、半島振興法は他の地域と比較して低位にある半島地域において、広域的かつ総合

的な対策を実施するため、必要な特別な措置を講ずることにより、地域の振興を図り、半島地域の自発的な発展及び地域住民の生活の向上並びに国土の均衡ある発展に資するものである。総合計画に基づき各種事業を執行しているが、半島振興法を活用した県の代行業等を展開することも重要と考える。

企画調整課長 南伊豆町としては総合計画のローリングについては毎年度行い、半島振興計画については静岡県の計画なので行っていない。





加畑 毅 議員

町と観光協会の今後の関係

質問 5月19日の観光協会総会で杉本新会長が誕生したが、新体制に期待する内容は如何か。

町長 杉本新会長の経歴は、伊豆急行(株)の常務まで経験され、観光事業に対して造詣の深い方です。町でも杉本会長には大きな期待を寄せています。4月に新しい事務局長が就任し、当町からも若手職員1名を出向させております。新しい体制での新しい施策の提案実施に期待をしています。

質問 今まで観光協会が集

客の窓口になり、利益の一部を運営費に回す構図があったと思うが、集客はインターネットで可能であり、観光協会の力を発揮する場面は違うところにあるのではないかと感じる。杉本新会長は伊豆地域内の大きな企業の中で、その部署、部門を取り仕切ってきた人物、津波災害対策でも竹林への通路整備で、いわゆる「杉本方式」と言われる自助努力で解決していく活動で近隣をまとめていった人です。観光協会の新しい形が見えてくるように感じる。今までと違った方向性を考えて

いるか。

町長 旅館・ホテルは宣伝能力も持っており、民宿への誘客をどのようにしたらいいのか苦慮しているようです。町内には民宿の数が多く、民宿への誘客が南伊豆町の観光の活性化に繋がっていくと考えております。当然、観光協会にも同様な考えがあるようで、民宿が満室になれば旅館・ホテルも満室になっていくだろうと。今年の「夜桜☆流れ星」では、最終2日間に民宿が満室になり成果がありました。これはもう、一つの新しい形ができたと思っております。



質問 観光協会の事業計画

の中に「道の駅下賀茂温泉の花指定管理業務」があるが、NPO法人南伊豆湯の花の運営する売店との関係をどう考えているか。新聞報道では2年連続2億円突破の売り上げですばらしい内容だが、観光協会が管理する町の施設を利用して売店なので、そこに生じた利益に関しては観光協会に還元されるのが本来の姿ではないか。家賃の件、生産者に対しての還元率の件、内部留保の件、理事報酬の件では以前の一般質問でも提言したように、改善すべきではないか。その点はどうか考えるか。

町長 NPO法人南伊豆湯の花の運営する農林水産直売所は観光協会と同一敷地

内にある施設にも係らず、十分な連携が図られてこなかったと聞いております。新年度、観光協会はNPOとの共同イベントも検討しており、今後はより一層の連携を図り、施設利用者の満足度を一層充実させていくよう、情報の共有化に努めております。賃料の件は一般的な感情から勘案し、あの施設が年間60万というのは、やはり安いと私も認識しております。来年度は観光協会から交渉をしていただきたいと思っております。



伊豆半島ジオパーク
世界認定に向けての
町の取り組み

※質問し、答弁があった。



渡邊嘉郎 議員

ジャングルパーク 跡地利用について

質問 ワークショップの進捗状況、石廊崎最盛期の頃を思い出すが、伊豆半島の宝の一つ、観光のメッカとして1市5町の首長会議の中で提案、地元協力がなくては開発できない。昔の賑わいにしていくのか。

町長 7回ワークショップを開催、3月25日に利用構想提言書が出され、誰もが行きたくなる石廊崎をテーマに、大自然を生かした観光教育、家庭で楽しむ遊びや食などの場を提供し、大絶景と日の出、日の入り、星空で感動を与える自然公

園とすることをコンセプトとし周辺地域までを含めた利用構想、今後は利用計画審議会基本計画としてまとめ上げていく。公共団体の役員、学識経験者、アドバタイザーとして国、県等の有識者、千葉大学の文化財に造詣の深い先生も考えてい



る。石廊崎の話は首長会ではまだ話してない。しかし関係機関への陳情等には協力すると伺っている。

企画課長 域学連携として千葉大学園芸学研究所に基本計画の策定までの委託を考えている。

地熱発電バイオ発電 について

質問 3・11震災以来、津波、原子力発電所の状態から、自然エネルギーが見直されている中で地熱発電、バイオ発電は進めなければいけないと思うが、南伊豆町民の宝である温泉で、町民、地権者の方々が反対運動まで起こしているのをここでこえてやるのか町長の考え方を。

町長 人口減少を食い止めるため、地熱発電を利用した形で雇用の場を創出、私がかかっているのは温室栽培、昔はやった温泉利用のウナギの養殖で雇用の場を創出する事ができるのではない

か。下賀茂温泉が現状のまま何もしない場合、枯渇と当然起こると思います。温泉も半永久的なものではなく一元管理の方策を考える事も重要と思う。

質問 地上調査に賛成した一人として、もっと温泉の権利者、組合、旅館組合の賛否のギャップをもっと理解を求めるとか。当町の財産の温泉がなくなった時、町を潰す一つの要因になつてくるかもしれない死活問題だ。



町長 私がこの事業を決断したのは、今まで日本の18の地熱発電所で問題が発生している所はないという事、学者を呼び地熱発電が危険性がないものという理解をしていただく。温泉が絶対



枯渇しないとは私も言いませぬ。その時は重要な問題になると思う。道路をつくと交通事故がある。リスクを背負うのが事業。リスクを承知の上で事業は進める。

質問 例えが違う。死活問題なもので、温泉権利者、旅館組合、民宿等、商売をしている人たちがこぞって掘削には、判を押せないという話しを聞く。申請の時でも理解を求める事に欠けていたのではないか。反対を押し切っても進めるのか町長は。

町長 一方的な質問だ。バイオマスを燃せばCO₂が発生し、温暖化の問題がある。風車は超音波の問題がある。原子力もそうである。



清水清一 議員

地域産業の活性化

質問 石廊崎の基本計画を今年度中に審議会を何回、いつからの計画なのか。

企画調整課長 6月末から、年間5回ほど計画している。

質問 上の道を早急につくるといふ裁判の結果だ。今年度の補正で道路の設計等をしなければまずいのでは。

企画調整課長 道路は訴訟での和解条項の一つ。全体計画を審議会等々で1年をかけて検討し、県等の補助事業も活用したい。

質問 町民憲章に、「湯煙のように高く仰ぐ文化のまちづくりをしましょう」とある。下賀茂温泉は湯煙があるから国立公園。今ある源泉をどう使って発展施策等を考えているのか。

町長 源泉管理にも莫大な費用がかかる、産業の基盤とするために、一元管理を検討しなければならぬ。今の温泉の利用状況ではないけなないので。今後、地熱発電事業においてさまざまな検討を進めたい。

質問 浴用等、植物園、温

室、ブドウ、ウナギとかスッポンとか、プールも過去はありました。

町長 温泉を利用して、これを産業化していくというのは難しい。

質問 源泉、今活用本数は、湧出量、平均温度等は。

産業観光課長 町内130本の総源泉数。現在活用が59本、48本の総湧出量は毎分4915L。平均温度は81度。

質問 地熱資源開発調査事業の申請目的及び内容は。

企画調整課長 平成26年度町で下賀茂地域の国立公園地域を含む範囲において2千kw級の地熱発電事業化

を計画。今年度は既存文献調査、地質調査、反射法地震探査等を実施。

質問 今年は約1億円。来年度の計画と総事業費等は。

企画調整課長 27年度は地表調査と坑井掘削等で約10億円。28年度が坑井掘削等で15億円を予定している。

質問 地熱発電所の源泉直径は約50cm。下賀茂の源泉直径が約10cm。直径が5倍も違う。毎分の湧出量は面積に比例する、30倍ぐらいになるのでは。下賀茂の源泉48本全部かき集めてこないと発電所としては使えないのでは。地熱発電の八丈島の場合、源泉直径は約50cm、3本掘ってある。下賀茂温泉の熱源のまた下層深いところから熱としてとると、水量が減らなくても熱量が減ってくる。温度が下がるのではないか、湯煙の町という町になってこないのではないか。現在ある下賀茂温泉で出ている熱量のものを1本の源泉で引き上げようということ、下から

熱をとってしまうと、上にある温泉については湯煙が上がるような温度が出てこないのではないかなと私は推測する。

町長 まだ我々はその辺を理解していない。これから理解促進の中で勉強したい。

質問 もし源泉の温度が下がったときに、一元管理している温度の高い源泉を町として供給していくのか。

町長 供給するということに関しては問題ない。まだまだ地熱発電というものがどういうものなのか、そして既存温泉をどのように利用していったらいいのかということをもっと皆さんで理解していったほうがいいのでは。





横嶋隆二 議員

地熱発電補助事業の問題点

質問 事業計画の概要、計画期間、予算、利害関係者の温泉協同組合に説明は。

町長 下賀茂地域に2千kw級の地熱発電事業化を計画。当然説明した。同意は今年度について確認。

企画課長 26年度理解促進1億5千万円。地熱資源開発調査1億1千500万円。理解促進は、来年再来年未定。地熱資源開発調査は3年計画、来年度10億円再来年度15億円申請。

質問 利害関係者は平成26

年度だけの同意で、地表調査しか認めず、掘削は拒否している。下賀茂地域の住民、温泉所有者から反対の声を聞く。調査だけで2年度10億円、3年度15億円、町長は強力に進めるのか。

町長 私の耳には反対の意見は上がっていない。2年目以降は理解促進を深め同意を得て進める。

質問 予算化し理解を促すため2千kw同規模発電事業の例示は当然。地熱での産業振興を町政の柱にしているところを考えている。

町長 全国に地熱発電所は18。事例は今から考える。

質問 具体的に提示できないのは無責任。2千kw程度の事業所は九州のホテル一軒。八丈島の3千300kw地熱発電は、雇用は1人。温水を利用した出荷農業はほとんど無い。雇用・経済効果をどう描いているのか。開発までで25億円の地熱発電所で、対費用効果、産業効果町財政への計算は。事業申請を三井不動産に手弁当でやってもらい、まちづくりをお任せするのか。

町長 まちづくりをするのに今の南伊豆町の財政力でどれだけのことができるのか議員はお考えか。資本、財源は非常に大切。

質問 町長の職責、メンツをなげうち、白旗を上げた答弁。恥ずかしくないか。

産業振興・雇用創出

質問 ブランド特産品開発事業の実績と展開は。身上記酒の醸造にお金が使われているのか。海底熟成酒の経過、町民が買えるのか。

町長 6次産業化として身上記は製造会社がよそにあり中途半端。ブランドづくりは地域に費用対効果が必要。醸造元に生産費がある程度行っているのでは。

副町長 品川の店で日本酒を扱う業者の考え。海底に沈め付加価値をつけ高額でネット・予約販売、蓄養場等簡易に海底に浸した廉価版を地元宿泊施設、居酒屋等の二段構えで考えている。

質問 小さい町でブランド・産業・物造りを興していく上で、町が投資の一端を担うことは非常に重要。先ほ



ど町長は地熱で三井を頼ったが、私はどんなに大変でも町民と力を合わせ、自分たち自身でつくる。それこそが持続可能な町の発展につながるかと信じている。だからこそ、10年になるが合併問題で町を残した。町が残ったからこそ特別会計も含めて90億円の予算がこの地域に落ちている。

産業観光課長 酒について町の補助金は使われていない。デザイン料、商標登録料等々に補助金が使われている。お酒は、酒造会社から米を買い、酒を酒屋さんが仕入れるというところで、そこに補助金の使途は無いと訂正させていただきます。申しわけございません。

未来を担う子供達

地域も心もきれいに 地域貢献活動(弓ヶ浜清掃)

「体育館の窓枠やカーテンが新しくなるなど、私たちの学校生活がより良くなるよう、地域のみなさんが応援してくれています。だからこそ、地域のためにできる弓ヶ浜清掃をがんばりましょう。」3年生の弓ヶ浜清掃プロジェクト委員会から、全校生徒に投げかけられました。

観光シーズン前に弓ヶ浜を清掃することは、「きれいな地域」をつくるだけでなく、児童・生徒の中に「きれいな心」を育てていきます。また、自分たちも役に立つことができているという喜びが次への活動の原動力にもなっています。

南東小6年生30人と南東中生83人に加え、今年は民生委員の方々も清掃活動に参加してくださいました。伝統ある活動が進化しながら広がりを見せていることをとてもうれしく思います。

いつまでも白砂青松の美しい弓ヶ浜を愛する気持ちと地域に感謝する気持ちを大切にしていって欲しいと思います。

南伊豆町立南伊豆東中学校
鈴木弘光



～弓ヶ浜にて～

みなみいず元気ぴと

南伊豆災害ボランティアコーディネートの会



災害ボランティアコーディネーターは、「助けてほしい」という被災者と「助けたい」という災害ボランティアを効果的かつ迅速円滑に結びつける役割をします。

また市町のボランティア本部の運営を行い、被災地の情報発信を行う災害ボランティア活動拠点のまとめ役となります。行政、住民、ボランティア団体、企業などと連絡調整するパイプ役となります。

現在、南伊豆の会員は32名で、いつくるか分からない災害に備えて、毎月の定例会、勉強会など行っています。

ボランティアは自分の為だけではなく、人の為社会の為に繋がる活動です。皆様のご参加お待ちしております。

お問い合わせ：社会福祉協議会 (電)62-3156

議会一コマ

注意したい発言の中に、無礼な言葉の使用と他人の私生活にわたる発言と云うのがある。議員は、他の議員、執行機関、その他第三者について、議事に関係のない個人の問題を議論の対象としたり、また、無礼な言葉や私生活にわたる言論になる発言をしてはならない。人事の同意案件について

て反対討論をするとき、あるいは一般質問などをする場合、特に注意が必要である。

参考までに、「無礼の言葉」とは、議員が議会の会議に付された事件について、自己の意見や批判の発表に必要な限度を超えて、議員その他の関係者の正常な感情を反発する言葉をいうものとされている(札幌高裁判決昭二十五年・十二・十五)。議員必携より (宮)



2013年12月、和食がユネスコの無形文化遺産に登録された。新鮮な食材と持味の尊重、バランスのとれた健康食、季節感等の表現や年中行事との関りが理由とされる。江戸以前の流れをくむものを和食とする。伝統料理には有職、本膳、精進、懐石や会席の各料理がある。他にも郷土料理として各地に存在する。米、野菜や魚等が基本で寿司や天麩羅等は外国人にもよく食され、ミシュランの評価も高い。高温多湿での醤油や味噌等は調味料として存在感がある。盛り付けや食器等、見た目の美しさも重要とされる。「いたたきます。」「もつたいない。」「と共にまちづくりの手法となりえる。

獅子王丸